

議員特別研修実施報告書

報告議員名	高橋聖悟	報告日	令和7年3月31日
調査研究・研修等 名 称	AI博覧会spring2025		
実 施 日	令和7年3月27日(木曜日)		
会 場	東京都港区		
調査研究・研修等の 概 要	AI 人工知能に焦点を当てた展示会。最新の技術やプロジェクト、業界のトレンドにフォーカスし、日本国内のAI 関連企業や専門家が集まり、展示、公演、デモンストレーション等が行われた		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙添付		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

報告書

AI 博覧会 spring2025 に参加して

高橋聖悟

所感

AI の新しい技術を提供する大型イベントに、自己啓発のために参加してきました。このイベントは AI 導入を加速させるためのものであり、最新の製品やサービスのデモンストレーションを実施しておりました。最先端のトレンド情報や AI の導入の事例を展示、講義説明があり、市政における課題解決や、効果的に施策を遂行してもらうために実装できるものはないかという視点、または、自身の活動の幅を広げるために参加してきたところです。以下いろいろ見てきました。

1) AI 文字起こしで丸ごと議事録

会議では、議事録作成はメモをとりながら普通の仕事であるが、このサービスでは、対面・リモートにかかわらず、リアルタイム以上の速度で、AI が文字を起こし、かつ動画とともに配信もできるというもの。特徴としては、① 1 時間の会議、音声で 5 分で議事録に。会議後すぐに、自然な日本語の議事録が完成するそうです。② 発信者を識別、自動で発言を分離。発信者との段落分けで読みやすくまとまりそうです。③ 単語をクリックして、動画で確認できるそうです。気になる単語だけを検索し、素早く振り返りもできるそうです。④ URL でチームに共有、共同編集。現場の確かな情報が手間なくみんなに伝わります。

議事録作成を始め、取材、調査、オンライン作業や研修内容の共有等あらゆる業務の記録と効率化になるのではと思いました。youtube 配信、各種編集作業、迅速な会議録作成には有効的と思ってきました。

2) AI キャラクターを活用したサービス

AI でキャラクターを構築し、そのキャラクターを活用しサービス向上狙うというもの。① AI キャラクター対話デジタルサイネージ。各所にあるデジタルサイネージが、市民との双方向的なコミュニケーションができるサービス② AI と楽しく喋って、フレイル予防を支援など、キャラを制作し、各種施策に投入。広報活動、販促、イベント、市民対応など、認知度や相関性を高めたり市政を浸透させたりする効果が出るのではと感じたところです。キャラというと、可愛いアニメっぽいイメージがあるかもしれませんが、議会ならしらとり君が対応しても、議長を模したり、馴染みやすい議会というものでした。

3) 自治体導入事例

生成 AI で観光 DX 推進。観光の資源不足を解決するため、「じゃらんリサーチセンター」はインバウンド推進を支援すべく、生成 AI を活用した観光マーケティングの実証実験を熱海市で実施しました。この実験では、特にマーケティング分析、データ活用、多言語対応の 3 つの領域で成果が得られたそうであります。AI インバウンドマーケティングツールを活用したことで、通常のマーケティング分析に比べ、作業時間を約 15 分の 1 に削減。従来は多言語の記事や口コミを手作業で収集

し、翻訳要約する必要がありましたが、AIを活用することで、迅速かつ正確な分析が実現したということでした。

山形県朝日町は、デンソーと連携し、AIを活用した害獣検知及び防犯システムを搭載したスマートポールの実証実験を行い、熊や猪など特定の害獣を高精度で検出し通報する機能を構築したそうです。これは、カメラで自動撮影、AIが画像解析を行って、不審行動や害獣を検知し、光や音で追い払います。検出情報はリアルタイムで管理センターや関係者に通知され、周囲の住民や観光客にも伝えられます。これにより朝日町の住民や観光客農産物の安全を確保しているようです。

宇都宮市では水道管の漏水をAIで発見する実証を開始。水道インフラの維持管理効率化と技術者不足の解消を図っているそうです。この実証実験では、特定の技術者に依存せずに、漏水音を収集し、モバイルネットワークを使用して、迅速にデータを転送する手法を検証します。AIによる漏水音の解析を通じて、従来よりも、迅速かつ正確な診断を目指し、専門技術者がAIの分析AIの結果を分析、フィードバックすることで、診断制度の向上や復旧作業の効率化を図っているそうです。収集した漏水音データは可視化され、専門技術者の育成ツールとしての活用も検討されているそうです。

その他、業務効率、電話相談の可視化、健康、防災、危機管理等の導入事例がありました。

このほか、「AIが切り開く未来の教育、未来の授業」、「AIカメラが現場を見える化。即戦力の最新施設セキュリティ」など、最新技術や話題などを見て回りました。

最後に、限られた予算と人員の中で、作業の効率化が求められるという昨今においては、AI導入を加速させ、それを補うべくAI人工知能による自動化は必須です。もちろん、品質サービスも落とさず、逆に向上させるべく、こういった最新技術、AI(人工知能)の力を利用し向上していくことも必要だというふうに考えていかなければならない時代がもう既に始まって、もう実は我々は遅い世界にいるのかもしれない。最近の課題であったオペレーションのミスをなくすことにも、人手不足にも、縮む社会においても、こういった技術の力を借りる事は鋭意進めていかなければいけないと感じました。